

新潟脳神経研究会特別例会の御案内

日 時：令和8年10月9日(金)16:30～17:30

場 所：脳研究所 A 棟 1 階 検討会室

中枢神経回路の修復のメカニズム探索と 評価系の作成



村松 里衣子 先生

国立精神・神経医療研究センター神経研究所
神経薬理研究部 部長

神経疾患では、神経細胞そのものの障害に加えて、グリア細胞や血管系など、神経回路を取り巻くさまざまな細胞や組織の変化が、病態や機能回復に関わると考えられている。我々はこれまで、障害された神経回路がどのような環境のもとで変化し、修復へと向かうのかを理解することを目指して、脳・脊髄内の細胞間相互作用に着目した研究を進めてきた。

また、神経系は脳内だけで完結しているわけではなく、血管を介して全身の影響を受けている。神経障害後には血液脳・脊髄関門の性質が変化し、循環血液中の因子が神経組織の細胞応答や組織環境に影響する可能性がある。我々は、このような脳外からの影響と神経系細胞との関わりについても検討を進め、神経回路修復を考えるうえでの手がかりを得てきた。

さらに、神経回路の機能回復には、軸索の維持や再生だけでなく、ミエリンの再形成も重要である。そこで、ミエリン形成過程を定量的に評価する実験系を構築し、修復を促す可能性のある候補物質を探索するスクリーニングにも取り組んでいる。

本講演では、神経系における細胞間相互作用、脳外から神経系への影響、そしてミエリン修復を対象としたスクリーニングについて、これまでの研究を紹介し、神経回路修復を理解し治療へつなげていくための可能性について考えたい。

どうぞ奮ってご参加ください。

(担当：脳研究所 システム脳修復学分野)



新潟大学脳研究所
Brain Research Institute, Niigata University